

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：キングスカレッジロンドン（イギリス）

Q.今回の留学プログラムの感想	まず、研修内容として、研究は奥深いと感じました。リサーチャーになるには探求心はもちろんのこと、ラボのチームメイトとの意見交換と言った交流も大切になってくると感じました。ロンドンに行って一番印象に残ったことは現地暮らし人々の優しさやフレンドリーな姿勢です。そのせいでなんだかぬくもりと躍動感を感じる雰囲気が街にあったと思います。また、異文化の良い所として、古いものを大切にすることや、緑や自然と調った生き方が魅力的でした。そんないつもと違う環境である海外での一人暮らしによって自分自身を見つめ直したり、将来について考える機会が増えたり、規則正しい生活を送ったりと、自己コントロールが前よりも出来るようになったし意識するようになりました。予測しなかった数々の経験から日々視野が広がる学びの場として最高の経験が出来たと思います。関わって下さった人すべてに感謝しています。
Q.健康管理や危機管理について	スーパーの機械（路上にあるATMと同じようなもの）でクレカから現金を引き出そうとしたらカードがそのまま吸われて戻って来なかった時は焦った。日本で作ったクレカではよく起こるそう。現金を引き出す時は郵便局など対人でやるべき。日本にいても同じ心配はあったと思うが、コロナ感染者がラボで頻繁に出ていたのでいつ自分がかかるか分からない怖さはあった。せっかくの研修期間を無駄にしたくない気持ちが大きかったからかもしれない。
Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	留学プログラムにおいて、研究やそれ以外の部分でも目標をもっていると効率的かつ充実した経験になると思う。一方で、その目標を持ち続けた上で柔軟性を持ち合わせておくことが、より広く沢山のことを経験から吸収するにあたり大切だと思う。なぜなら、私自身予期しない経験や出会いに多く遭遇し、自身の持つものとは異なる価値観や考え方に触れた。それらを受け入れる姿勢でいたことで、考え方や進路の幅が広がり、その結果当初目指した将来像や目標が変わった。いずれにせよ、新しい見解や進路の幅を増やすことは、現在の目標達成のためにも役立つし、新たな目標の発見にも繋がるので、多くを吸収する柔軟な姿勢も大切にすべきだと思う。
Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	自分の英語力で研究についていけるかが不安だった。一人で海外が初めてだったこともあり、空港から滞在先までたどり着けるか不安だった。キングスカレッジへ今回のプログラムを申請するオンラインのアプライの認定が出発直前だったので、行けるか否かの心配を直前までした。そのため、滞在先を契約する時などにキャンセル保険をつけるか否かも悩んだ。

留学中のお気に入りの写真



コメント：ロンドンは都市でありながら緑に囲まれていて癒されます

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：キングスカレッジロンドン（イギリス）

Q. 今回の留学 プログラムの感想

大変多くの方に支えられてこのプログラムが成り立っていることを知ることが出来た。研究室の方々はとても親切で不明な点は何度も時間をかけて説明していただいた。今回は研究実習として受け入れていただいたが、派遣先でお世話になった方々からは人間性という部分も多く学ばせていただいた。また、日本とは違う点に驚くだけでなく、楽しみながら受け入れる心の余裕ができた。渡航前はバイトや部活動で自身のことを考える余裕はなかったが、この機会に自分と向き合う時間が生まれたことで自分が本当は何がしたかったのかを考えることができた。今回は主にロンドンに滞在していたが、ロンドンの良さだけでなく日本の良い部分を改めて認識できたことが良かった。

Q. 健康管理や 危機管理について

ロンドンの交通マナーは非常に悪く、家の前で轢かれそうになった。また、フラットメイトは全員マリファナを吸っており、歩いていると売人が声をかけてくるなど身近に危険があった。

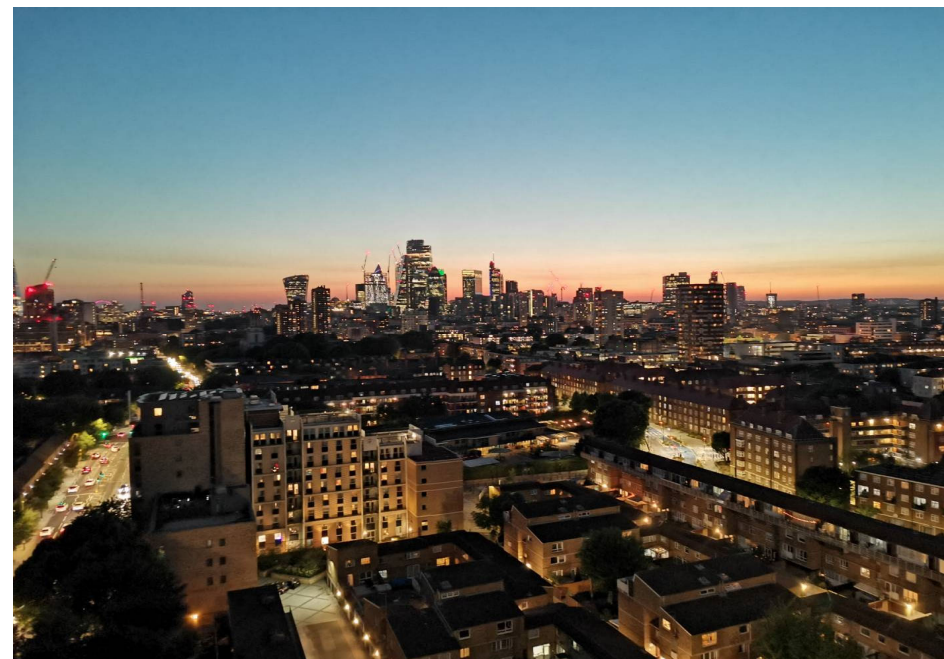
Q. 今回の派遣先への 留学を希望している 後輩たちへの メッセージ

日本では中々知ることの出来ない分野であり、とても新鮮な気持ちで研究に臨むことが出来ると思う。研究室のメンバー同士も仲が良く多くの人と関わりそれぞれの分野、バックグラウンドも知ることが出来る。ぜひ、この派遣先に行くことを希望していただきたいと同時に色々なことに興味を持ち、研究に限らず全ての経験を有意義なものにして欲しいと思う。

Q. 留学プログラムへの 応募前や選考、 渡航前など大変や 不安だったこと

covid-19の影響で渡航が出来なくなるのではないかと、ウクライナ情勢の影響がどのように出てくるのか、未知の状態だったので不安だった。現地でcovid-19に罹患した場合の対処なども最初は不安だった。

留学中のお気に入りの写真



コメント：滞在していたエリアの写真です。とても好きな場所です。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声

留学/派遣先（国名）：キングスカレッジ・ロンドン（イギリス）



Q. 今回の留学 プログラムの感想

今回の派遣プログラムにおいて、多くのことを学ぶことができ自分自身のために凄くなったように思います。まずコミュニケーションが全て英語だったので英語での会話力とリスニング力をつけることができたように思います。そして、イギリス国内からのサマープログラムの学生や他の国からの留学生の方が多くいた為、それぞれの国での大学のシステムの違いや文化の違いを学ぶことができたこともなかなかできない貴重な経験だったように思います。研究に関しては基本的な手法から、どのように得られた結果から更に研究内容を深めていくのかということまで学ぶことができました。また、研究室にいた近いが他の分野の研究をしている学生とも交流できて更に見識が深まったように思います。

Q. 健康管理や 危機管理について

比較的治安は良かったように思いますが、昼夜や週ごとの寒暖差が大きかったので体調管理には特に気を遣いました。

Q. 今回の派遣先への 留学を希望している 後輩たちへの メッセージ

充実した研究はもちろんですが、同時に英語力も向上でき、様々な国の文化について知ることができるので大変貴重な経験になるかと思います。些細なことのように思えることでも意外と新たな発見につながったり、特に現地での様々な学生との交流は海外留学でしか得られない経験なので、積極的にコミュニケーションを取ることで自身の視野が広がり、それが今後において糧になるのではないのでしょうか。

Q. 留学プログラムへの 応募前や選考、 渡航前などに大変や 不安だったこと

選考や応募の段階では、世界情勢の変化で実際に行けるのかということや、希望する研究室に行けるのかということを心配していました。実際に派遣が決定してからは日本でも未経験の研究室配属、一人暮らしがとりわけ不安でした。

留学中のお気に入りの写真



コメント：研究室からの眺め。ロンドンを一望できました。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：トロント大学（カナダ）

Q. 今回の留学プログラムの感想	多くの友人や現地のファミリーと知り合い、たくさんの経験をして思い出を作ることができました。3か月はとても短く、研究そして生活、余暇と全力で駆け抜けた日々でしたが、とても充実した毎日でした。一生の思い出に残る、かけがえのない経験ができたと思います。トロント大学での生活はとても楽しく、お昼休みには現地の学生とお昼を食べにダウンタウンへ足を運んだり、研究室終了後には友人のお家に行き一緒に料理を作ったりとても有意義な時間を過ごせたと思います。何よりカナダは日の入りが21：30～22：00頃なので研究室が終わった後でも外はまだお昼頃のように明るく、十分にリフレッシュする時間が確保できました。	留学中のお気に入りの写真  コメント：トロント市庁舎前のNathan Philips Squareで一枚🍁
Q. 健康管理や危機管理について	体調を崩すことは特にありませんでした。時差ボケも全くなく、到着した次の日からすぐに研究室に挨拶に行きました。ですが理想的には土日で時差ぼけを解消したり体調を整えたりと、準備万端な状態で研究室に行くことが望ましいと思うので、出国の日程についてはよく考えて決めるようにした方が良いと思います。	
Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	トロントは大学内にもコミュニティがたくさんあり、友人を作ったりコネクションを作ることには困らないと思います。ですが何より大事なのは、まず自分から積極的にアプローチすることです。毎日の研究をしっかりと行うことは当然のことですが、それ以外にも現地の人と知り合うことで新たな発見があったり、日本ではできないような経験ができたことと人の繋がりの多さだけ、新しい経験があると私は思います。トロントはそれが顕著な街でした。大学外に目を向けることも貴重な経験の一つなので、街中で行われるフェスティバルに足を運んだりアクティビティに参加するのも良いと思います。貴重な機会を思う存分楽しんでください！	
Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前など大変や不安だったこと	留学プログラムのための学内奨学金への応募の際にはわからないことがたくさんあり少し不安もありました。ですが担当教授の先生や学生派遣係の皆さんが助けて下さり全く問題はありませんでした。あとは現地で自分が生き抜けるかの自信と英語力の問題だと思います！またテストが重なっている時期での応募のため、十分に余裕をもって書類を提出することをお勧めします。	

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同